

ひびき

Vol.21

森まさき

活動報告

編集・発行

森まさき

TEL0859-39-3190

Fax0859-39-3191

〒689-3537

米子市古豊千 304



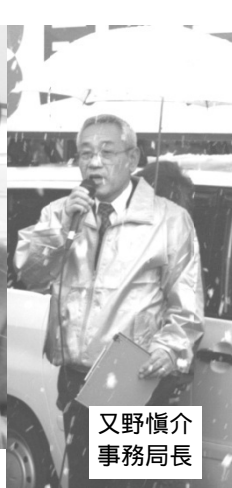
明けまして おめでとございます
 本年もよろしくお願ひいたします
 本年は新たな挑戦の年となります。
 精一杯頑張つてまいります。どうぞご指
 導お願い申し上げます。

事務所開きをおこないました

さる十二月二十六日事務所開き式を多くの参加者の下、開催しました。当日は時おり小雪の舞う大変寒い日でしたが、地元「豊田」自治会の公民館（集会所）前広場を会場に、約三百人の参加者の下、盛大に開催しました。また、湯原俊二民主党県連代表ほか多くの来賓のみなさまのご隣席をいただきました。



中村 頼吉
後援会長



又野 慎介
事務局長



湯原 俊二
民主党県連代表

事務所は、これまで通り、米子市古豊千三〇四番地(自宅横)に構えました。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



(参加者を前に決意表明する森まさき)

森まさきは目指します

子育て支援の充実

鳥取県を全国で一番子育てをしやすい県となるよう、待機児童（保育園、なかよし学級）の解消や、就学支援など市町村を最大限応援します。



人権施策の推進

全ての施策を人権の視点でチェックし、行政施策の根幹として機能させます。

働くものの生活を守る

額に汗して働く人たちが報われる地方自治の仕組みをつくり、生活・雇用を守ります。

社会実践的な高校教育

子どもたちも社会の大切な構成員であることから、カリキュラムの中で社会人としての基礎（消費者、司法参加、政治参加、道徳など）を学ぶ社会人教育を導入します。

子どもたちの明確な進路目標の醸成などを通じて、高校新卒就職者の離職率の低減を図ります。

市民自治の実現

地方自治の中心は市町村です。県は市町村のできないことを補完するという形に徹するよう変えて行きます。地方自治体を真の市民の政府とするための自治体改革を進めます。地域コミュニティに一定の権限財源を与える市民自治の仕組みを根付かせます。

農林水産業の発展

仮称農業塾の開講により技術の継承、農業就業者を増大させるとともに、耕作放棄地の解消（農地の有効利用と食物自給率の向上）を目指します。

日本海・中海の魚介類の生息環境を修復し、若い漁業者を育成し、鳥取県の重要産業である漁業を振興します。

権限を市町村へ

県と市町村の役割を明確化したうえで、都市計画、農地、環境などの権限・財源を市町村へ移管し、市町村負担を含む事業についてはその財源を市町村への一括交付金化します。

県は「全ての県民が等しく便益を享受できる事業」を行うという形に変えます。

環境行政の推進

鳥取県を環境最先進県とし、再生可能エネルギー（風力、太陽光、小水力発電）100%の鳥取県を目指します。

4R（リデュース（減量）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）、リフューズ（購入拒否））による循環型社会を推進します。

議会改革

2 元代表制の下、議会を「自由で活発な政策討論の場であり、物事を決めるところ」と位置づけ、より開かれた議会へと議会改革を進めます。

「議員間討議の義務付け」「議案への議員の賛否を議会報で公開」「議会議論の重視」「通年議会の開催」「議会報告会や県民及び市町村議員との意見交換会の開催」などを盛り込んだ議会基本条例を制定します。